



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども



81日間の2学期がスタート



37日間の長い夏休みも終わり、81日間の2学期が始まりました。この夏休みは、交通事故・水難事故等の事故や大きなケガもなく、子どもたちは陸上や合唱の練習にも一生懸命取り組んでいました。また、7月24日には、猪苗代町で第39回県緑の少年団大会が開かれ、県教育委員会教育長賞を受賞しました。26日には緑の少年団の鈴木団長と芳賀副団長が町長と教育長へ受賞の報告を行いました。他には、スインピアゲーム大会、たなちゃん杯ソフトテニス大会、やまつりCUP(サッカー)などで子どもたちの活躍する姿もありました。2学期には、11/9の学習発表会をはじめ多くの行事があります。「本物に触れる豊かな体験活動」を重視し、9/27は次代を担う子どもの文化芸術体験事業「日本画」、10/29はふくしま次代を担う子どもの文化芸術体験事業「落語」、11/13は木工細工「草木染め」などを予定しています。「関心・感動・感謝」の3かん王を目指し、「チーム内川18名 明るく 温かく 美しく」をモットーに9名の職員で力を合わせて、よい子どもたちを育て、すてきな学校をつくり、よい教育をしていきたいと考えていますので、保護者の皆様のご協力をお願いします。

校長の話

18人そろって元気な顔で会えたこと、大変うれしく思います。37日間の長い夏休みも終わり、今日から81日間の2学期が始まります。1学期の終業式で、「一粒の米」についてお話しました。今日は、みんなが知っているスポーツ選手の小学校の卒業文集を紹介します。サッカーと野球の選手です。二人とも「一粒の米」を大事に努力している素晴らしい人です。

一人目は、8月14日(水)、仙台スタジアムで行われた日本-ウルグアイ戦、2-4で負けたもののペナルティーキックからのシュートを決めた本田圭佑選手。

二人目は、8月22日(木)、日米通算4000本安打を達成したイチロー(鈴木一郎)選手(ヤンキース)。長い歴史のあるメジャーでも2人(ピート・ローズ<4256本>、タイ・カッパ<4191本>)しか達成していなかったすごい記録です。

そして、最後に向井千秋さんの言葉を紹介します。

【本田圭佑】 「将来の夢」

ぼくは大人になったら、世界一のサッカー選手になりたい と言うよりなる。世界一になるには、世界一練習しないとダメだ。だから、今はガンバっている。今はヘタだけれどガンバって必ず世界一になる。そして、世界一になったら、大金持ちになって親孝行する。Wカップで有名になって、ぼくは外国から呼ばれてヨーロッパのセリエAに入団します。そしてレギュラーになって10番で活躍します。一年間の給料は40億円はほしいです。プーマとけいやくしてスパイクやジャンパーを作り、世界中の人が、このぼくが作ったスパイクやジャンパーを買って行ってくれることを夢みている。一方、世界中のみんなが注目し、世界中で一番さわぐ4年に一度のWカップに出場します。セリエAで活躍しているぼくは、日本に帰りミーティングをし10番をもらってチームの看板です。ブラジルと決勝戦をし2対1でブラジルを破りたいです。この得点も兄と力を合わせ、世界の強ゴウをうまくかわし、いいパスをだし合って得点を入れることが、ぼくの夢です。



- ★ 勝負を決めるのは準備。なかでも気持ちの準備以上のものはないと思う。
- ★ 僕は毎日、こうなりたいというイメージを頭のなかに描いている。でも強い相手と1試合すると、そうやってイメージする以上に明確になりたい自分の姿がはっきりと見えてくる。

【イチロー】 「僕の夢」

ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校でも全国大会へ出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるには、練習が必要です。ぼくは、その練習にはじしんがあります。ぼくは3才の時から練習を始めています。3才~7才までは、半年位やっていましたが、3年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をやっています。だから一週間中、友達と遊べる時間は、5時間~6時間の間です。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、中学、高校で活躍して高校を卒業してからプロに入団するつもりです。そして、その球団は、中日ドラゴンズか、西武ライオンズが夢です。



- ★ 8000回の悔しい思いがある。誇れるとすれば、常にそれと自分なりに向き合ってきた事実だと思う。(日本での9年間で1278本 メジャー13年で2722本)

日本人女性として初めて宇宙を飛んだ「向井千秋」さんの言葉も紹介します。
『If you can dream, you can do it.』です。「夢を持ったり、目的を持ったら、それは必ず実現するんだ。」ということです。夢とか目的を実現するには、時々つらいことに出会ったり、長い年月や時間がかかりますが、自分にはこんなことはできないんじゃないかと思わず、あきらめずに一生懸命やっていくと、毎日が楽しくなるし、できるようになります。



この2学期、世界で活躍する二人の選手を目指し、向井さんの言葉を忘れずに、しっかりした目標を持って毎日の授業に集中し、様々な行事や大会等にも積極的に取り組んで、自分自信を鍛えてほしいと思います。

そこで、次の合言葉で頑張る2学期にしましょう。

★「全力投球・3S」

- 第1のS：「Study～学習～」
 - ・一時間一時間の授業を大切にしてほしい。宿題を忘れないでほしい。読書を頑張ってほしい。
- 第2のS：「Sport～運動～」
 - ・陸上大会や水泳記録会、持久走記録会などがありますが、一人一人目標を持って取り組んでほしい。
- 第3のS：「Speech～発表～」
 - ・「わかあゆタイム」や学習発表会等で話す機会がたくさんあります。自分の思いや考えをしっかりと発表できるようになってほしい。

長い2学期ですが、チーム内川18名、「全力投球3S」を合言葉に笑顔でがんばっていきましょう。



矢祭町教育ポータルサイト4号！



「矢祭町教育ポータルサイト」が開設され、8月5日にはアクセス数が2万件を越えました。多くの方々に見ただけに感謝しております。夏休みの様子です。

●2013/07/24 第39回福島県緑の少年団大会！

| by:内川小校長

7月24日（水）、国立磐梯青少年交流の家で、第39回福島県緑の少年団大会が開催されました。全校児童18名と職員7名、藤田PTA会長と沼端PTA副会長（緑担当）の27名で参加してきました。表彰式では、鈴木団長と芳賀副団長が代表して「県教育委員会教育長賞」を杉教育長から授与されました。活動発表は5・6年生6名全員で発表しました。昨年度の活動が評価されての受賞です。昨年度の6年生に感謝しています。「ありがとうございます。」今年度の緑の活動を更に充実させ、来年度の大会にのぞみたいと思います。目指せ！「県知事賞」。「関心・感動・感謝」で参加できた大会になりました。



●2013/08/10 第21回少年少女防犯スインピアゲーム大会 | by:内川小校長

夏の太陽のもと、スインピア矢祭において開かれた「スインピアゲーム大会」。本校児童と関岡、下関の児童が参加し、楽しい大会になりました。児童を代表し、6年の鈴木さんが児童代表の言葉を述べました。いろいろと準備をしてくださった消防団の方々に感謝ですね。夏休みもあと2週間、安全に生活してください。



●2013/08/19 やまつりカップ（サッカー）！

| by:内川小校長

8月18日（日）、矢祭町営体育館において、第58回やまつりCUP少年スポーツフェスティバルの開会式が行われ、サッカーに3チーム、ミニバスケットボールに4チームが参加しました。9時から試合開始です。本校児童は「関岡スポ少」として出場しています。リーグ戦1試合目は「石井スポ少」との試合です。本校児童の4年の菊池さんはキーパー、5年の金澤さんも前半は出場して頑張りました。Ⅱ部には、3年沼端さん、4年藤田さんも出場しました。

